

高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第13週[3月28日～4月3日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>
 E-mail: kansen@ken4.pref.kochi.jp

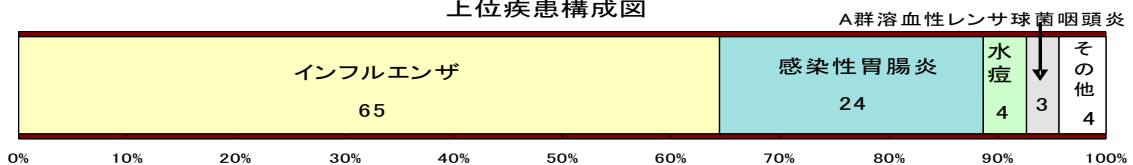
県内情報

○ 患者情報総評

注意報発令疾患：インフルエンザ、マイコプラズマ肺炎

- 天気の良い日が続き、週末にかけては気温が上昇し、日中20℃を越す地域もあった。
- インフルエンザ（中央西：警報→警報，幡多：注意報→注意報，高知市：注意報→注意報，高幡：注意報）は安芸と幡多を除く地域で増加し、総数は再び増加した。
- 感染性胃腸炎（高知市：注意報→注意報）は安芸，中央東，高知市で増加したが，その他の地域で減少し，総数はやや減少した。高知市で引き続き注意報値を超している。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（中央西：注意報，幡多：注意報→注意報）は高知市と中央西で増加し，中央東，高幡，幡多では減少した。総数はやや減少したが，中央西と幡多で注意報値を超している。
- 水痘（安芸：注意報，中央東：注意報）は高知市と高幡で減少したが，その他の地域で増加し，総数はやや増加した。安芸と中央東で注意報値を超している。

上位疾患構成図



地域別感染症注意報・警報発生状況

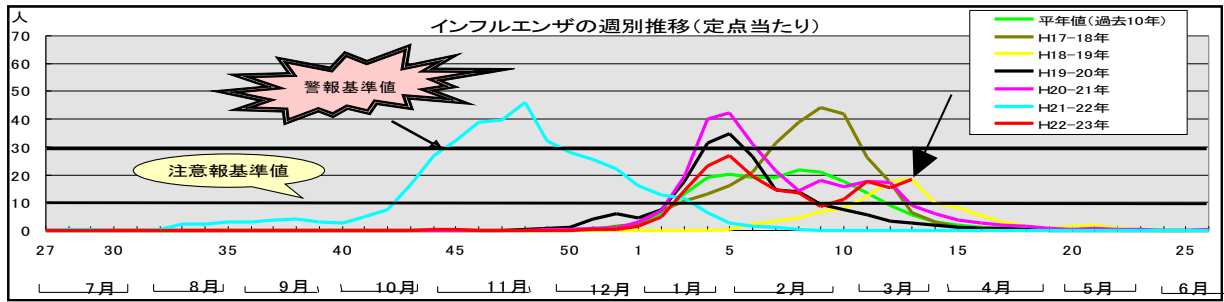
第13報（2011年3月28日～2011年4月3日）



インフルエンザ：今週 18.35（注意報値：10.00 警報値：30.00）

安芸と幡多で減少したが，その他の地域で増加し，総数は再び増加に転じた。中央西では警報値を越す流行が続いている。幡多，高知市，高幡で注意報値を超している。年齢別にみると，5～9歳が34.4%，1～4歳が24.3%，10～14歳が20.1%の順で報告が多い。今週はInfluenza AH3 が6件，Influenza B が3件検出された。

定点からのコメントを集計すると，迅速キットでB型陽性が84%を占めている。検査結果から，A型はAHpdmからAH3に移行していることも考えられ，今後の推移が注目される。



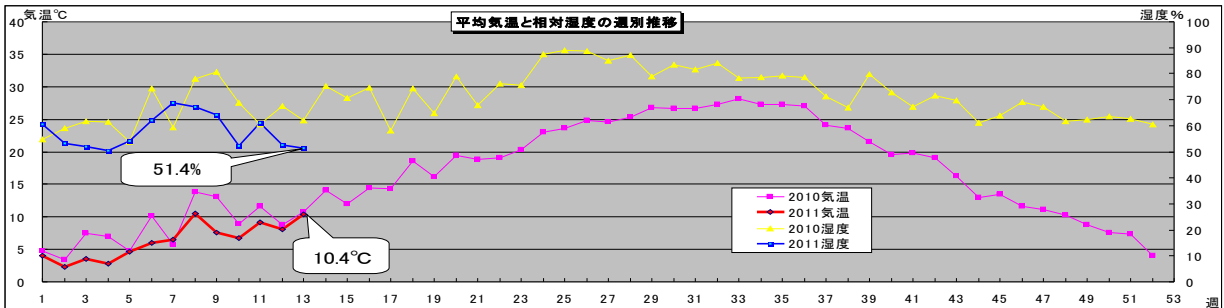
検査情報

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
13	インフルエンザ	2歳 男	高知市	Influenza virus A H3 NT
13	インフルエンザ	3歳 女	高知市	Influenza virus A H3 NT
13	インフルエンザ	8歳 男	高知市	Influenza virus A H3 NT
13	インフルエンザ	4歳 女	高知市	Influenza virus A H3 NT
13	インフルエンザ	5歳 男	高知市	Influenza virus A H3 NT
13	インフルエンザ	4歳 男	中央東	Influenza virus A H3 NT
13	インフルエンザ	3歳 男	高知市	Influenza virus B NT
13	インフルエンザ	12歳 男	高知市	Influenza virus B NT
13	インフルエンザ	6歳 女	高知市	Influenza virus B NT
9	無菌性髄膜炎	7歳 男	幡多	Mumps virus
9	無菌性髄膜炎	8歳 男	幡多	Mumps virus

○ 全数報告の感染症情報

4類感染症：レジオネラ症 1例（80代女）《高知市》（今年3例）

○ 高知県の平均気温と湿度（週別）



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《幡多けんみん病院小児科》：インフルエンザの39例中5例はA型陽性，34例はB型陽性
アデノウイルス陽性 1例（1歳）

《さたけ小児科》：インフルエンザの71例中6例はA型陽性，58例はB型陽性

《大井田病院小児科》：インフルエンザの5例は全てB型陽性

《渭南病院小児科》：インフルエンザの8例中4例はA型陽性，4例はB型陽性，予防接種歴あり2例，なし6例
アデノウイルス咽頭炎 1例（1歳男）

《こいけクリニック》：インフルエンザの43例中14例はA型陽性，29例はB型陽性

《幡多けんみん病院内科》：インフルエンザの19例中3例はA型陽性，16例はB型陽性

高幡：

《もりはた小児科》：インフルエンザの33例中3例はA型陽性，30例はB型陽性，予防接種歴ありは6例
マイコプラズマ肺炎 1例（7歳女）

《大西病院小児科》：インフルエンザの13例全てB型陽性

《須崎くろしお病院内科》：インフルエンザの2例中1例はA型陽性，1例はB型陽性

《くぼかわ病院内科》：インフルエンザの3例は全てB型陽性

中央西：

《石黒小児科》：インフルエンザの64例中10例はA型陽性，54例はB型陽性，予防接種歴ありは25例

《くぼたこどもクリニック》：インフルエンザの70例中2例はA型陽性〔うち1例（15歳男）は県外から帰省〕，68例はB型陽性〔うち2例（7歳女，6歳男）は土佐市〕，うち14例は予防接種歴あり
伝染性紅斑の1例（0歳女）は県外から帰省
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の1例（4歳男）は高知市
感染性胃腸炎の2例（2，4歳男：兄弟）は高知市，2例（4歳女，6歳男）は県外から帰省，1例（1歳男）はいの町

《土佐市民病院内科》：インフルエンザの20例は全てB型陽性

高知市：

《細木病院小児科》：インフルエンザの21例中6例はA型陽性、15例はB型陽性

《矢野小児科》：インフルエンザの29例中1例は予防接種歴あり

《福井小児科内科》：インフルエンザの18例中4例はA型陽性、14例はB型陽性 帯状疱疹 1例（10歳女）

《けら小児科・アレルギー科》：インフルエンザの70例中5例はA型陽性、65例はB型陽性、予防接種歴ありは18例
アデノウイルス陽性 2例（3歳男）

百日咳の1例（36歳女）は東浜株1280倍、山口株640倍、DPT接種歴あり

《ふないキッズクリニック》：インフルエンザの27例中2例は予防接種歴あり

感染性胃腸炎の1例（1歳男）はロタウイルス抗原陽性

《依岡内科》：インフルエンザの5例中2例はA型陽性、2例はB型陽性、全て予防接種歴あり

《高知医療センター小児科》：インフルエンザの6例中3例はA型陽性、3例はB型陽性、予防接種歴ありは1例

《細木病院内科》：インフルエンザの4例中1例はA型陽性、3例はB型陽性

《高知赤十字病院内科》：インフルエンザの4例中予防接種歴ありは1例、なしは3例

《近森病院内科》：インフルエンザの19例中7例はA型陽性、8例はB型陽性、うち予防接種歴ありは5例、なしは3例

《町田病院》：流行性角結膜炎の1例はアデノウイルス陽性

中央東：

《高知大学医学部附属病院小児科》：感染性胃腸炎の3例（2,6歳男,1歳女）はロタウイルス陽性

《吉本小児科皮膚科》：インフルエンザの8例は全てB型陽性

《あけぼの小児クリニック》：インフルエンザの32例中2例はA型陽性、30例はB型陽性

《野市中央病院小児科》：インフルエンザの1例はB型陽性、予防接種歴なし

《早明浦病院小児科》：インフルエンザの6例は全てB型陽性

《いちほら内科小児科》：インフルエンザの22例中2例はA型陽性、20例はB型陽性

《野市中央病院内科》：インフルエンザの4例中3例はB型陽性、1例は臨床診断

《嶺北中央病院内科》：インフルエンザの1例はB型陽性

安芸：

《県立安芸病院小児科》：インフルエンザの10例中1例はA型陽性、3例はB型陽性、予防接種歴なし

《田野病院小児科》：インフルエンザの8例は全てB型陽性、予防接種歴ありは6例

《県立安芸病院内科》：インフルエンザの2例1例はA型陽性、1例はB型陽性、予防接種歴なし

全国情報第11週（3/14～3/20）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核277例

3類感染症：細菌性赤痢6例、腸管出血性大腸菌感染症9例（有症者4例、うちHUSなし）

4類感染症：A型肝炎1例、デング熱3例、マラリア1例、レジオネラ症3例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢9例、急性脳炎1例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、後天性免疫不全症候群9例（無症候8例、その他1例）、ジアルジア症1例、梅毒7例、破傷風1例、風しん6例、麻しん6例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、E型肝炎1例、エキノコックス症1例、デング熱1例、急性脳炎2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、風しん4例

◆インフルエンザ

インフルエンザの報告数は2011年第5週以降減少が続いていたが、第11週の報告数（定点当たり報告数17.25、報告数82,523）は第10週（定点当たり報告数16.81、報告数79,174）に引き続いて2週連続で増加した。都道府県別では山口県（48.87）、大分県（41.55）、愛知県（31.55）、岐阜県（30.59）、福岡県（29.81）、三重県（29.38）、広島県（27.71）、石川県（26.50）の順である。中部地方、中国地方、九州地方に定点当たり報告数の多い県が多く、31道府県で定点当たり報告数の増加が認められた。前週に引き続いて、岩手県内の一部（3保健所）、福島県の全ての保健所（8保健所）からの報告はなかった。宮城県は県内の全ての保健所（12保健所）から報告があったが、定点当たり報告数は1.58（報告数142）と少なく、震災被災地での状況を考慮すると実際のインフルエンザの発生状況をまだ反映できていない可能性が高い。岩手県、宮城県、福島県3県の周辺地域では、青森県、秋田県、茨城県、新潟県で報告数は減少したが、山形県、栃木県、群馬県では増加がみられた。

定点医療機関からの報告をもとに、定点以外を含む全国の医療機関をこの1週間に受診した患者数を推計すると約74万人（暫定値）となり、年齢群別では5～9歳約29万人（39.2%）、10～14歳約17万人（23.0%）、0～4歳約11万人（14.9%）、30代約5万人（6.8%）の順であった。0～14歳の年齢層で増加が続いている。2010年第36週以降これまでの累積の推計受診患者数は約1,104万人（暫定値）であり、その内訳は男性51.1%、女性48.9%、年齢群別では5～9歳24.5%、10～14歳14.8%、0～4歳13.2%、20代12.2%、30代12.1%の順となっている。

2010年第36週～2011年第11週までの期間中に国内では8,419件のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、AH1pdm 5,261件、AH3亜型（A香港型）2,528件、B型630件とAH1pdmが最多を占めている。一方、2011年第7～11週までの直近の5週間では、総検出報告数1,067件中AH3亜型513件（48.1%）、AH1pdm 321件（30.1%）、B型233件（21.8%）であり、AH3亜型の検出が最多となっており、B型の検出割合も増加してきている。

インフルエンザの患者報告数は、3月に入って第10週、11週と2週連続で増加し、流行が再燃してきていることを示している。検出されているウイルスの状況をみると、AH3亜型が流行の中心となっており、またB型の患者発生数も増加してきているものと推測される。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(12週)	高知県(13週末累計) H23/1/3~H23/4/3
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ	20	105	310	207	51	188	881 (18.35)	738 (15.38)	59,690 (12.33)	9,075 (189.06)
小児科	咽頭結膜熱		1	1		2		4 (0.13)	9 (0.30)	984 (0.32)	101 (3.37)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		6	12	8	2	12	40 (1.33)	44 (1.47)	5,479 (1.77)	632 (21.07)
	感染性胃腸炎	18	71	165	29	8	41	332 (11.07)	359 (11.97)	22,107 (7.14)	3,703 (123.43)
	水痘	5	15	15	2	3	7	47 (1.57)	41 (1.37)	4,901 (1.58)	716 (23.87)
	手足口病			11	1	2	1	15 (0.50)	4 (0.13)	358 (0.12)	95 (3.17)
	伝染性紅斑		2	4	1	1		8 (0.27)	2 (0.07)	1,435 (0.46)	47 (1.57)
	突発性発疹	1	1	7	1	2	1	13 (0.43)	11 (0.37)	1,407 (0.45)	139 (4.63)
	百日咳			1				1 (0.03)		83 (0.03)	7 (0.23)
	ヘルパンギーナ			2				2 (0.07)	3 (0.10)	72 (0.02)	24 (0.80)
	流行性耳下腺炎		2	3			5	10 (0.33)	8 (0.27)	2,989 (0.97)	81 (2.70)
	RSウイルス感染症			1				1 (0.03)	8 (0.27)	603 (0.19)	549 (18.30)
眼科	急性出血性結膜炎								0.00	9 (0.01)	(0.00)
	流行性角結膜炎			1				1 (0.33)	2 (0.67)	289 (0.44)	13 (4.33)
基幹	細菌性髄膜炎									7 (0.02)	1 (0.14)
	無菌性髄膜炎									8 (0.02)	8 (1.14)
	マイコプラズマ肺炎			4				4 (0.57)	1 (0.14)	117 (0.26)	25 (3.57)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									9 (0.02)	1 (0.14)
計 (小児科定点当たり人数)		44 (17.00)	203 (23.55)	537 (39.56)	249 (55.40)	76 (25.25)	250 (35.90)	1,359 (34.12)			
前週 (小児科定点当たり人数)		42 (14.00)	157 (19.21)	448 (33.78)	209 (47.93)	70 (25.50)	304 (44.90)		1,230 (31.68)	100,547	15,217 (392.20)

定点当たり

第13週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(12週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ	5.00	9.55	19.38	41.40	12.75	23.50	18.35	15.38	12.33
小児科	咽頭結膜熱		0.14	0.09		1.00		0.13	0.30	0.32
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.86	1.09	2.67	1.00	2.40	1.33	1.47	1.77
	感染性胃腸炎	9.00	10.14	15.00	9.67	4.00	8.20	11.07	11.97	7.14
	水痘	2.50	2.14	1.36	0.67	1.50	1.40	1.57	1.37	1.58
	手足口病			1.00	0.33	1.00	0.20	0.50	0.13	0.12
	伝染性紅斑		0.29	0.36	0.33	0.50		0.27	0.07	0.46
	突発性発疹	0.50	0.14	0.64	0.33	1.00	0.20	0.43	0.37	0.45
	百日咳			0.09				0.03		0.03
	ヘルパンギーナ			0.18				0.07	0.10	0.02
	流行性耳下腺炎		0.29	0.27		2.50		0.33	0.27	0.97
	RSウイルス感染症			0.09				0.03	0.27	0.19
眼科	急性出血性結膜炎									0.01
	流行性角結膜炎			1.00				0.33	0.67	0.44
基幹	細菌性髄膜炎									0.02
	無菌性髄膜炎									0.02
	マイコプラズマ肺炎			0.80				0.57	0.14	0.26
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.02
計 (小児科定点当たり人数)		17.00	23.55	39.56	55.40	25.25	35.90	34.12		
前週 (小児科定点当たり人数)		14.00	19.21	33.78	47.93	25.50	44.90		31.68	

